

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておくと、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日 年 月 日 製造番号(NO.)

販売店(TEL)

お客様相談センター【ご利用時間 9:00~18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

0120-20-8822 ※携帯電話、IP電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



| | | | |
|--------|--------------------|-------|--------------------|
| ●北海道支店 | TEL (011) 786-5122 | ●北陸支店 | TEL (076) 263-4311 |
| ●東北支店 | TEL (022) 288-8676 | ●関西支店 | TEL (06) 7167-3644 |
| ●東京支店 | TEL (03) 5753-7703 | ●中国支店 | TEL (082) 504-8282 |
| ●関東支店 | TEL (03) 6374-5687 | ●四国支店 | TEL (087) 863-6761 |
| ●中部支店 | TEL (052) 533-0231 | ●九州支店 | TEL (092) 621-5772 |

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ——<https://www.hikoki-powertools.jp>

HIKOKI

取扱説明書

コードレスチップソーカッタ

36 V
150 mm CD 3605DB

コードレスチップソー切断機

36 V
150 mm CD 3605DFA

コードレス工具の安全上のご注意… 1

本製品の使用上のご注意… 5

リチウムイオン電池の使用上のご注意… 8

各部の名称… 9

仕様… 10

標準付属品… 11

別売部品… 12

使い方

基本機能について… 13

警告シグナルについて… 16

キックバックについて… 17

キックバック軽減システムについて… 18

ご使用前の点検… 19

別売部品の取付け方… 21

切断する… 23

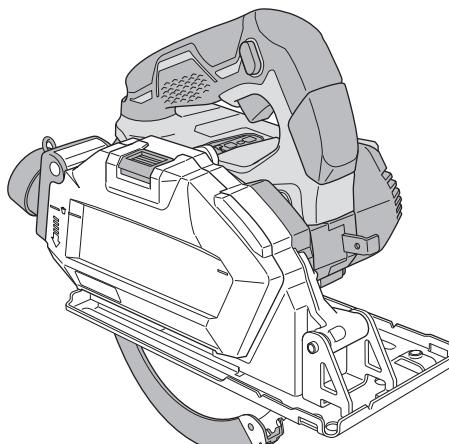
チップソーの交換… 25

切りくずの捨て方… 28

その他

保守・点検… 29

ご修理のときは… 裏表紙



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠️警告、⚠️注意、注の意味について

- ⚠️警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠️注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- 注：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、⚠️注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠️警告

① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

② 作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。

- コードレス工具は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。
発火や火災の恐れがあります。

③ 保護メガネを使用してください。

作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

④ 加工する物をしっかりと固定してください。

加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。

⚠️警告

⑤ 次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

- 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
- 付属品や別売部品を取り付け、交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑥ 不意な始動は避けてください。

スイッチに指を掛け運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。

⑦ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。

⚠️注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
- コードレス工具を、温度が50°C以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上の使用は、事故の原因になります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。

- ・小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- ・指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- ・だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- ・長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。

常に足元を安定させて、バランスを保つようにしてください。
転倒して、けがの原因になります。

⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- ・付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⑨ 調整キーやスパナなどは、スイッチを入れる前に取りはずしてください。

調整キーやスパナなどの工具類が、取りはずしてあることを確認してください。
付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。

⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- ・コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- ・疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。

特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。

アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

⚠注意

⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。

⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。

- ・サービスマン以外の人は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
- ・コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ・アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受付けできません。

○騒音防止規制について

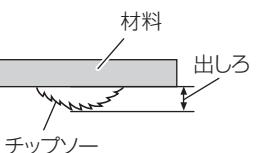
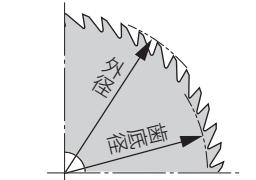
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスチップソーカッタ、コードレスチップソー切断機について、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 保護カバーを固定しないでください。また、円滑に動くことを確認してください。
チップソーが露出していると、けがの原因になります。
- ② 銘板に表示してある範囲内のチップソーを使用してください。また、歯底径が 125 mm 以下のチップソーは使用しないでください。
保護カバーのおおいが不完全となり、けがの原因になります。
- ③ 切断する材料は、安定性の良い台に置いてください。
 - ・チップソーが材料の下面より出ますので、作業台上に置いて材料を切断します。
 - ・材料の切り残し側を、しっかり押さえてください。
 - ・クランプで固定するなどしてしっかり押さえれば、両手で作業することができます。
- ④ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みでチップソーが挟み付けられないよう、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
- ⑤ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。
また、切り落とした材料がチップソーと接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、チップソーの出しろの 3 倍以上にしてください。
- ⑥ 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ⑦ 使用中は、チップソーや回転部、切りくずの排出部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑧ 切断途中や切断後、チップソーを回転させたまま機体を戻さないでください。スイッチを切り、回転が完全に止まってから機体を持ち上げてください。回転させたまま機体を戻したり、持ち上げたりすると、キックバックが発生する原因になります。
- ⑨ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

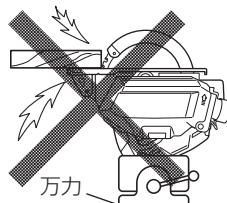


⚠ 警告

- ⑩ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、チップソーや機体などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑪ 金属を切断するときは、引火しやすい物、傷つきやすい物は、遠ざけてください。
切り落とした材料、切りくずは高温になります。また、切断火花も発生します。切りくずなどを直接手足に当てますと、けがの原因になります。
- ⑫ 切削油などを付けて切断しないでください。
切削油、切削液およびワックスなどの種類によっては、切断時の火花で発火する場合があります。
- ⑬ スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時には、スイッチから指をはなしてください。
不意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- ⑭ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていることを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑮ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。
- ⑯ 金属切断後の機体を収納する際は、ダストボックスにたまっている切りくずを捨て、ダストボックスおよび収納ケース内を清掃してから入れてください。また、蓄電池を取りはずして収納する際は、蓄電池に電池カバーを取付けてください。

⚠ 注意

- ① 作業中は保護メガネ、耳栓、ヘルメット、安全靴などの安全保護具を着用してください。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ③ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動やチップソーの面振れなどの異常がないことを確認してください。
- ④ 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。
キックバックが発生する原因になります。
- ⑤ 材料に釘などの異物が付いてないことを確認してください。また、用途以外の材料は切斷しないでください。
チップソーの破損や、キックバックが発生する原因になります。
- ⑥ 切断しようとする材料の上に手を置いたまま作業しないでください。
- ⑦ 機体を万力などで保持した使い方はしないでください。
- ⑧ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめしてください。
機体や材料などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑨ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑩ LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目当てないでください。
- ⑪ スイッチパネルに強い衝撃を与えたたり、破いたりしないでください。
- ⑫ 蓄電池は確実に取付けてください。



⚠ 警告マークについて



このマークのある操作・手順では、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。
蓄電池を工具本体に装着したまま準備や点検、チップソーの交換などをすると、予期できない作動を招いて事故やけがの原因になります。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記①、②、③の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。

② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。

③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かけなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になります。

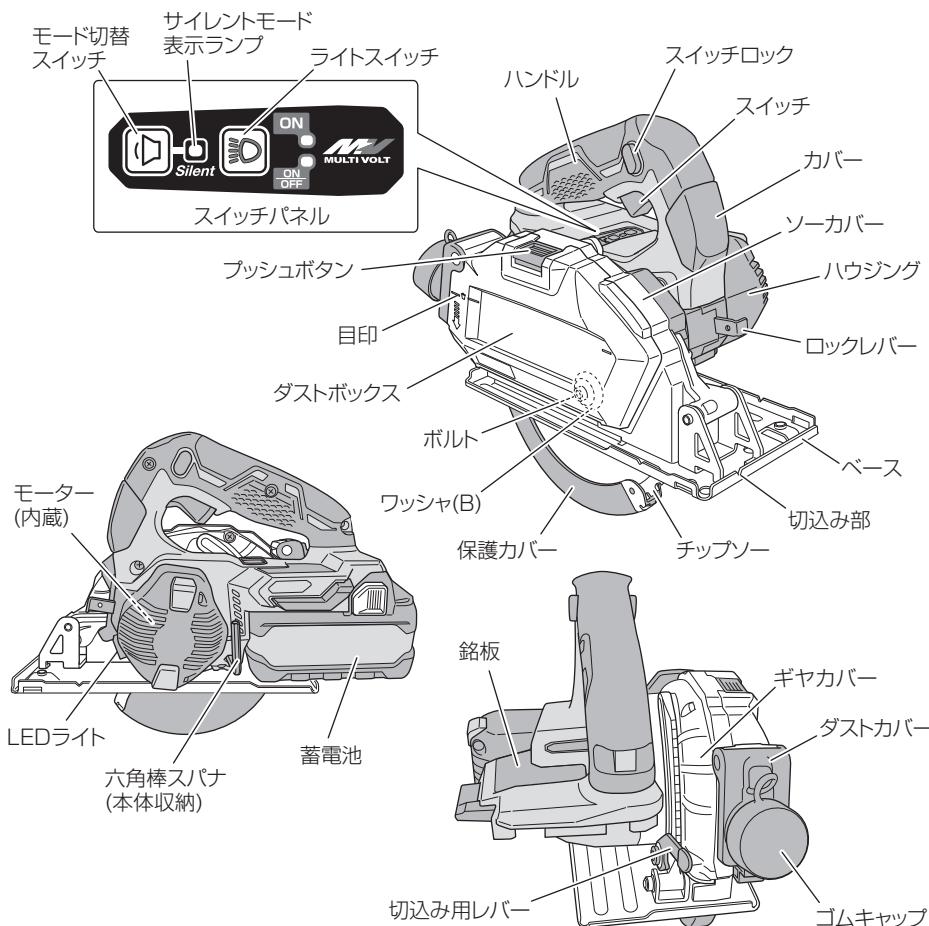
さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、蓄電池の取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を守ってください。

○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

各部の名称

[定置式については、バイススタンドの取扱説明書をご参考ください。]



仕様

| 形名 | CD 3605DB・CD 3605DFA [バイススタンド未装着時] |
|-------------------|--|
| モーター | 直流ブラシレスモーター |
| 最大切込み深さ | 57.5 mm |
| 使用可能チップソー | 外径 145～150 mm × 穴径 20 mm |
| 無負荷回転数 | パワーモード時: 4,200 min ⁻¹ {回/分} サイレントモード時: 2,600 min ⁻¹ {回/分} |
| 寸法 長さ × 高さ × 幅 | 278 × 247 × 177 mm [BSL 36A18X装着時] |
| 質量 | 3.0 kg [BSL 36A18X装着時] |
| 電池電圧 | 36 V |
| 使用可能蓄電池 | マルチボルトタイプ蓄電池 |
| LEDライト | 白色 LED |
| サイレントモード表示 | 青色 LED |
| LEDライト SW 表示 | 緑色 LED |

標準付属品

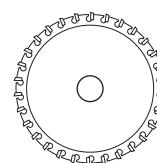
| 品名 工具本体 仕様 | CD 3605DB | | CD 3605DFA | |
|---|-----------|-----|------------|-----|
| | XPZ | NN | XPZ | NN |
| チップソー（鉄工用） 外径 150 mm 穴径 20 mm (本体装着) | 1 枚 | 1 枚 | 1 枚 | 1 枚 |
| 六角棒スパナ (5 mm) (本体収納) | 1 本 | 1 本 | 1 本 | 1 本 |
| 蓄電池 ●取扱い方法は、蓄電池の取扱説明書を確認してください。 | 1 個 | — | 1 個 | — |
| 充電器 ●取扱い方法は、充電器の取扱説明書を確認してください。 | 1 台 | — | 1 台 | — |
| 電池カバー | 1 個 | — | 1 個 | — |
| システムケース (No.4) | 1 個 | — | — | — |
| バイススタンド (本体装着) ●取扱い方法は、バイススタンドの取扱説明書を確認してください。 | — | — | 1 式 | 1 式 |
| 注 バイススタンドに取付けた場合、木材の切断はできません。 | | | | |

別売部品 (別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

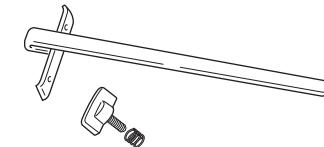
チップソー

各種取りそろえております。
用途に応じてお選びください。
定置式は鉄工用チップソーをお使いください。



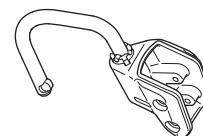
ガイド

(P.21「ガイド」参照)
定置式では使用できません。



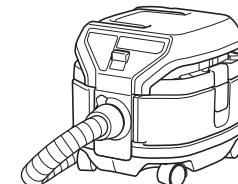
フック

単管(Φ48)や木材などにつり下げると
きに便利です。
(P.21「フック」参照)
定置式では使用できません。



集じん機

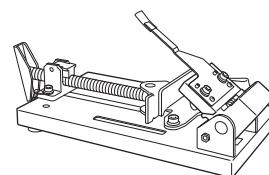
本製品は、集じん機に接続して使用する
ことができます。
なお、ホースの取付け方は P.22 を確認し
てください。定置式では使用できません。



バイススタンド

CD 3605DFA形は標準で装着しています。
CD 3605DB形でバイススタンドをお買い
求めいただくことで、CD 3605DFA形と
同一の定置式としてお使いいただけます。

注 バイススタンドに取付けた場合、木材
の切断はできません。



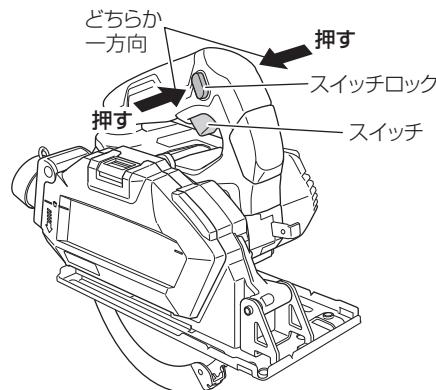
基本機能について

●スイッチの操作について

スイッチロックを矢印のどちらか一方に押しながらスイッチを引くと、チップソーが回転します。

スイッチが入った後は、スイッチロックをはなしても、スイッチを引いていれば、チップソーは回転を続けます。

スイッチをはなすと、チップソーの回転にブレーキがかかり停止します。



●モード切替機能について

モード切替スイッチを押すごとに、作業モードが替わります。

サイレントモード時は、サイレントモード表示ランプが点灯します。

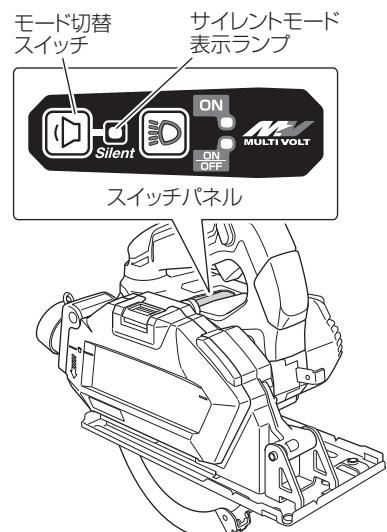
サイレントモードでは、モーターの無負荷回転数を低くすることで、騒音を抑え効率の良い作業ができます。

サイレントモードで作業していても、負荷が大きくなるとパワーモードに自動的に替わります。

また、負荷が小さくなるとサイレントモードに自動的に戻ります。

- 注**
- モード切替は蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと切り替えできません。
 - スイッチの入 / 切、蓄電池の抜き / さしをしても、設定したモードは維持されます。

| モード | 無負荷回転数 |
|-------|----------------------------------|
| パワー | $4,200 \text{ min}^{-1}$ {回 / 分} |
| サイレント | $2,600 \text{ min}^{-1}$ {回 / 分} |



●1充電当たりの切断量

材料の状態、チップソーの種類、使用環境、蓄電池の状態などにより異なります。

[パワーモード、蓄電池 BSL 36A18X 使用時]

| 材料(種類) | 切断量 |
|--------------------------------------|-------|
| 電線管 外径 38.1 mm × 厚さ 1.4 mm | 180 本 |
| C チャン 幅 60 mm × 高さ 30 mm × 厚さ 2.3 mm | 130 本 |

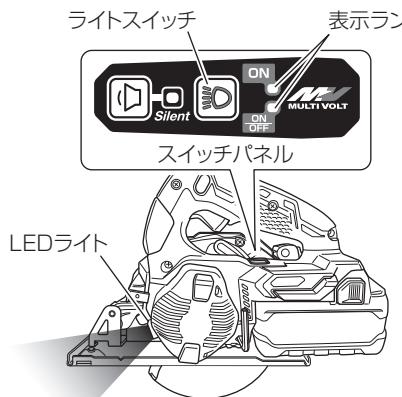
1回の充電による切断量を増やすためには

- 切断中に機体をこじったり、強く押したりして、モーターに無理をかけないでください。
- 切れ味の悪いチップソーは使用しないでください。

● LED ライトの使い方

スイッチパネルのライトスイッチを押して LED ライトの点灯モードを切り替えることができ、緑色ランプで表示します。

蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。



- 注**

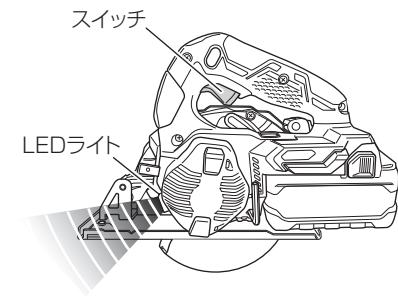
 - LEDライトは蓄電池を工具本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないとライトスイッチを押しても点灯しません。
 - LEDライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、LEDライトのレンズ部に傷が付かないようにしてください。

| 点灯モード | 連続点灯 | SW 連動 | OFF |
|------------|-------------------|---|-----|
| 表示ランプの点灯状態 | | | |
| 状態 | 点灯 (約2分後に自動消灯) | スイッチを引いたとき点灯 (スイッチをはなしてから 約10秒後に自動消灯) | 消灯 |

警告シグナルについて

本製品は、工具本体および蓄電池を保護する機能が付いており、作業中に各保護機能が作動すると、LEDライトが点滅してお知らせします。

各保護機能が作動したときは、下記の対処方法に従ってください。



| 保護機能 | LEDライトの表示 | 対処方法 |
|-------|--|------------------------|
| 過負荷保護 | 0.1 秒点灯 / 0.1 秒消灯  (早い点滅) | 大きな負荷となった原因を取り除いてください。 |
| 温度保護 | 0.5 秒点灯 / 0.5 秒消灯  (遅い点滅) | 機体を十分に冷ましてください。 |

キックバックについて

キックバックとは

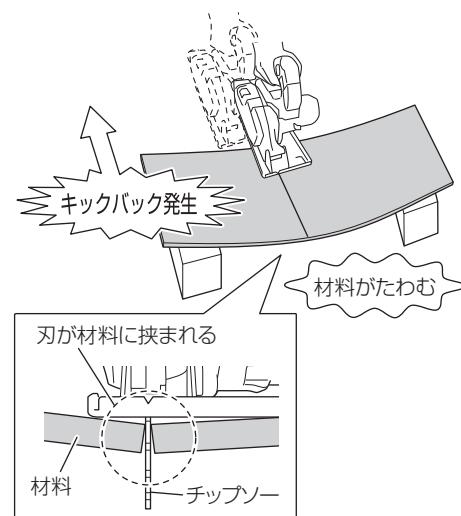
回転中のチップソーに、急激に大きな負荷がかかり、回転数が急速に低下したとき、反発によって材料もしくは機体が作業者側にはじき飛ばされる現象です。

キックバックを発生させる原因

キックバックを発生させる原因としては

- ①材料によるチップソーの挟み込み
- ②曲線切りなど、機体をこじる作業
- ③材料にチップソーの刃先を当てた状態での起動

ほかにも、劣化したチップソーの使用やかたい未乾燥材の切断、過度に深い切込み設定、過大な押し付けなど、複合的な原因があります。



キックバックを避けるには

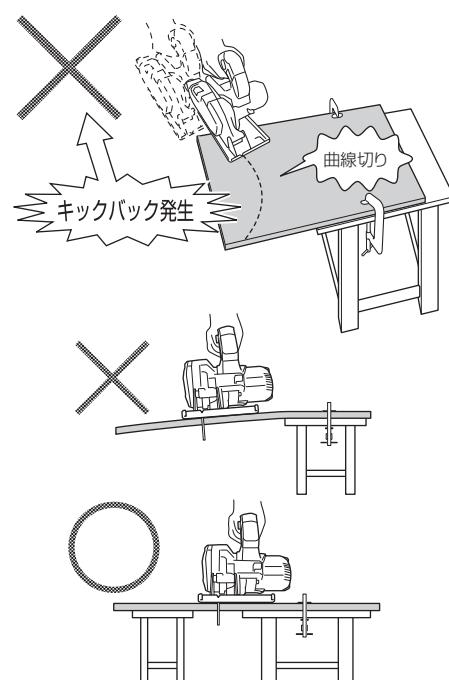
材料によるチップソーの挟み込みは、キックバックが発生する最大の原因です。

材料の設置方法を注意することで、チップソーの挟み込みを少なくすることができます。

材料の下に受け台を適切に設置します。

切断する材料が長い場合、端部に近い所に受け台を設置すると、切断中に材料がたわんで、チップソーを挟み込みます。

切断する部分に近い位置に受け台を設置するか、切り落とし側にも同じ高さの受け台を設置してください。



キックバック軽減システムについて

本製品は、モーターの回転数の変化を監視し、チップソーの挟み込み等により、モーターの回転速度が急速に低下したとき、瞬時にモーターを停止することで、キックバックの動きを軽減する「キックバック軽減システム」が搭載されています。

キックバック軽減システムが作動したら…

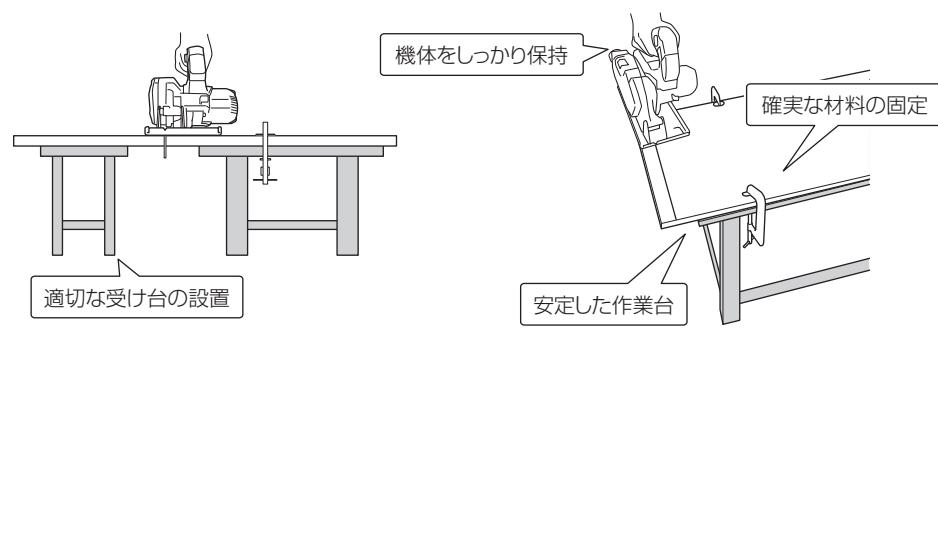
キックバック軽減システムが作動してモーターが停止したときは、

- ①直ちに機体のスイッチを切る
- ②チップソーにかかった負荷の原因を確認する
- ③過負荷となった原因を取り除く
- ④再度スイッチを入れる
- ⑤切断を再開する

注意していただきたいこと

「キックバック軽減システム」は、作業時の状況・条件等により作動しない、あるいは性能を十分に発揮できない場合があります。

作業時は、確実な材料の設置・固定および機体の保持を行ってください。



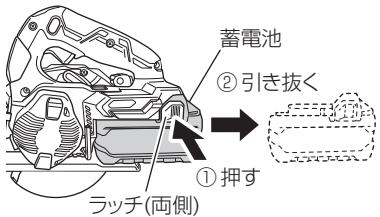
ご使用前の点検

⚠警告

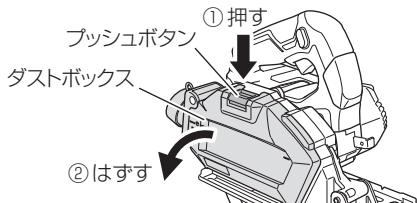
③ロックレバーや⑦スイッチロックが元の位置に戻らない場合、⑥保護カバーが円滑に動かない場合、⑨ブレーキが正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

1 蓄電池を取りはずす

両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



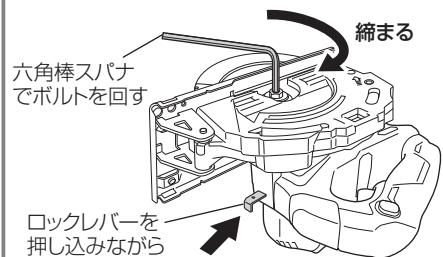
2 プッシュボタンを押して、ダストボックスをはずす



3 チップソーの締付けを確かめる

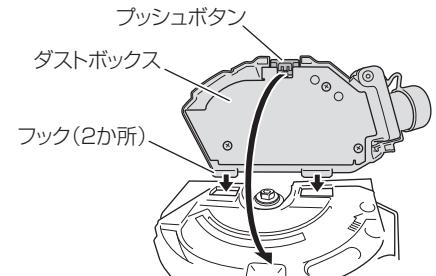
ロックレバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナでボルトを時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。

その状態のまま締付けます。チップソーを締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻ることを確認してください。



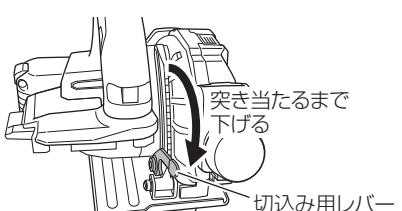
4 ダストボックスを取付ける

下部のフック(2か所)を機体に掛け、上のプッシュボタンをはめ込み、ダストボックスを機体に取付けます。



5

切込み用レバーの締付けを確かめる



7

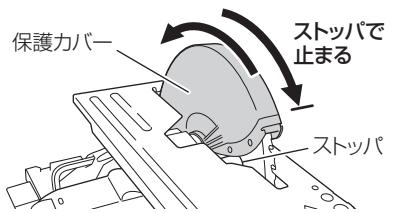
スイッチおよびスイッチロックの動きを確かめる

- スイッチロックは、本体が不意に起動することを防ぎます。
- スイッチロックを押しながらスイッチを引きます。スイッチロックをはなした後、スイッチをはなします。スイッチ、およびスイッチロックが元の位置に戻ることを確認してください。

6

保護カバーの動きを確かめる

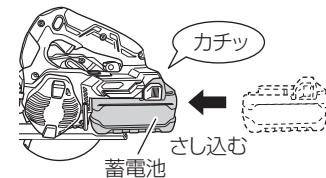
- 保護カバーは、チップソーが体に触れるのを防ぎます。チップソーをおおうように、円滑に動くことを確認してください。
- 保護カバーを動かして戻したとき、保護カバーとストッパーにすき間がなく、止まることを確認してください。



8

蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。

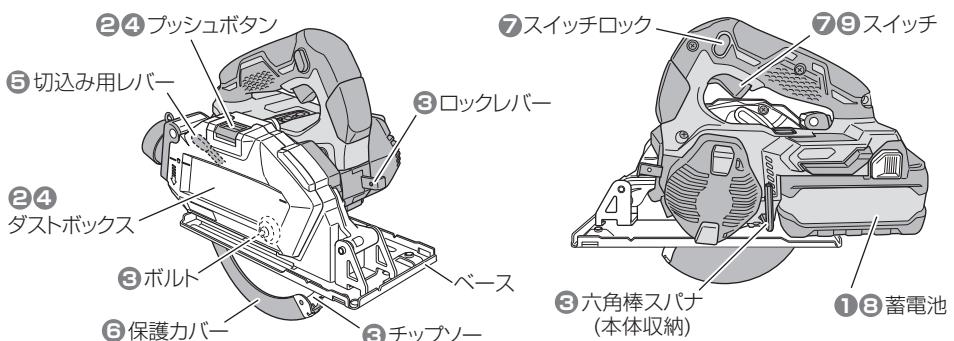


9

ブレーキがかかりることを確かめる

本製品はスイッチを切ると同時に、チップソーの回転にブレーキがかかることになっています。

使用前に、ブレーキがかかりることを確認してください。



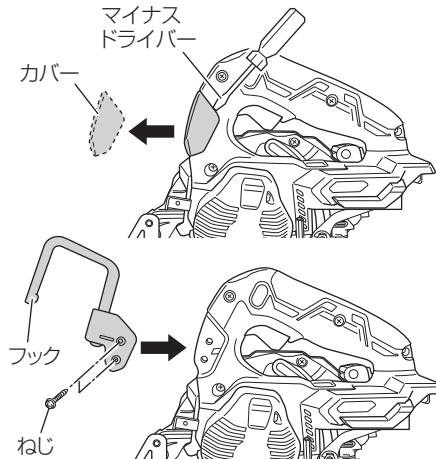


別売部品の取付け方

●フック

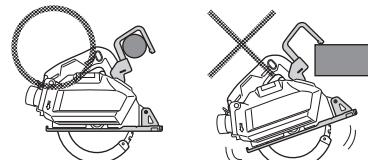
マイナスドライバーをすき間にさし込んで、ハンドルからカバーをはずします。

ハンドルにねじでしっかりと固定します。



△注意

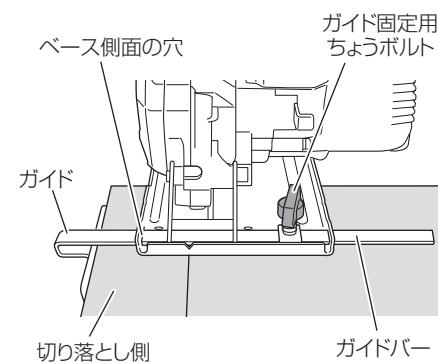
- ・ベルトやズボンなど人体へのつり下げはしないでください。
- ・高所ではフックを使用しないでください。
- ・つり下げた状態で引いたりしないでください。
- ・フックは確実に掛けてください。



●ガイド

ガイドは材料の端面に対して平行に切断するときに使用します。

- 1 ガイドのガイドバーを、ベース側面(切り落とし側)の穴に通します。



- 2 ガイドを左右に動かして切断位置を調整し、ガイド固定用ちゅうボルトを締付け、ガイドバーをしっかりと固定します。

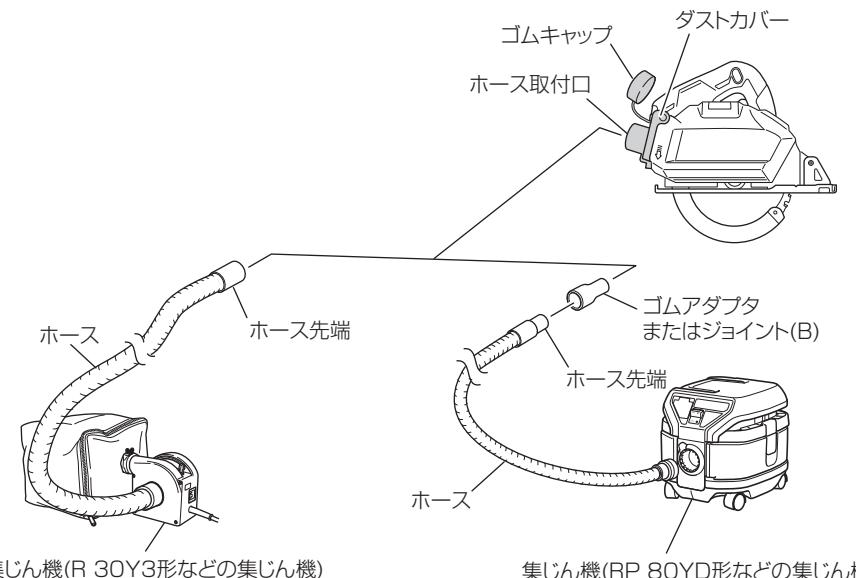
●集じん機で集じんする使い方

△警告

- ・金属を切斷するときは、集じん機を使用しないでください。
- ・集じん機の使用方法、集じんできる切りくずなどについては、集じん機の取扱説明書をお読みください。

- 1 ダストカバーの後方に付いているゴムキャップをはずします。

- 2 集じん機に付属されているホースを、ホース取付口に接続します。RP 80YD形などの集じん機に接続する場合は、集じん機に付属のゴムアダプタが必要になります。



切断する

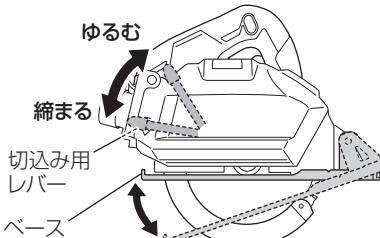
各種材料の切断

●軟鋼材 ●アルミサッシ ●金属系サイディング ●各種木材

1

切断する材料の厚みに
応じて切込み深さを
調整する

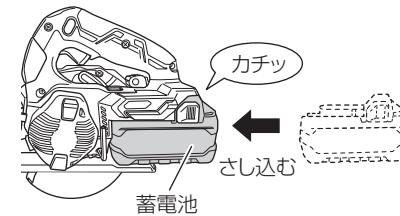
切込み用レバーをゆるめ、ベースを上下
させて調整し、切込み用レバーを締付
けてベースを固定します。



2

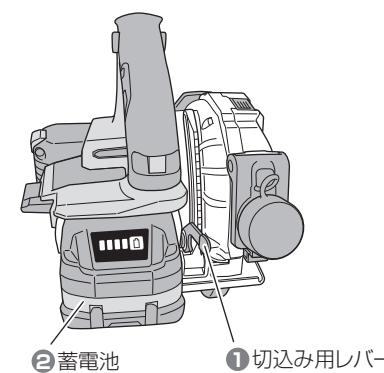
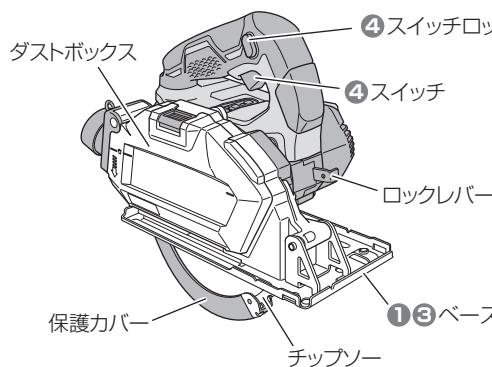
蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで確実にさし
込んでください。



! 警告

切込み深さの調整後、ベースがしっかりと
固定されていることを確認してください。



! 警告

- スイッチロックを固定しないでください。また、運搬時にはスイッチから指をはなしてください。
不意にモーターが起動し、思わぬ事故をおこすことがあります。
- 切断中に機体をこじったり、強く押し付けたりしないでください。機体をまっすぐにゆっくり進めるようにしてください。
キックバックが発生する原因になります。また、チップソーの寿命を短くします。

注

- ロックレバーは、スピンドルを固定しますので、モーター運転中は押さないでください。
- 材料からベース底面が浮き上がった状態で切断しないでください。
- チップソーのロック等により切断を途中で中断したときは、スイッチを切り最初の切断位置まで機体を戻してから、再度スイッチを入れ切断を始めてください。

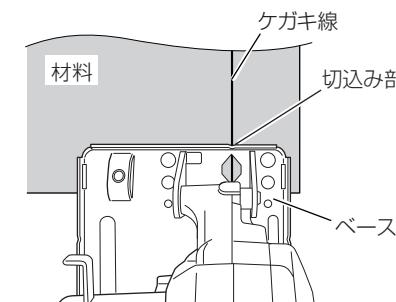
注

- 鋼材の連続切断は、行わないでください。
切りくずの熱で、ダストボックスが変形する恐れがあります。
- 薄板金切断を行うときは、切り落とし側の幅を 20 mm 以上とるようにしてください。20 mm 以下の場合、切り落とした材料がダストボックスに巻き込まれて詰まることがあります。
- 切断直後は、材料や切りくず、チップソーが高温になっていますので、直接触れないでください。

3

ケガキ線に合わせる

材料の上に機体（ベース）を載せ、ケガキ線とチップソーの位置をベース前部の切込み部で合わせます。

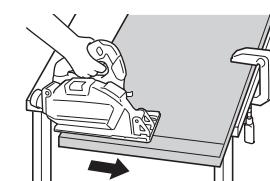


4

スイッチを入れ、ゆっくり
前方に進める

チップソーが材料に触れない状態でスイッチを入れ、回転が安定したらゆっくり前方に進め、切り終わるまでこの状態を保つようにします。

ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。



三 チップソーの交換



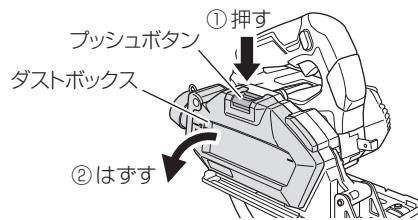
この作業時は必ずスイッチを切り、蓄電池を取りはずしてください。

⚠ 警告

- ・チップソーの交換は、安定した台や床の上で行ってください。
- ・ボルトの着脱は、付属の六角棒スパナで作業してください。
付属以外の工具を使用すると、締めすぎや締付け不足になります。

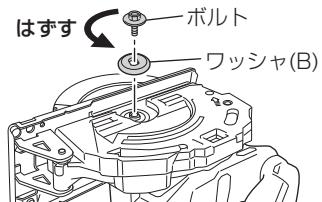
1

プッシュボタンを押して、ダストボックスをはずす



3

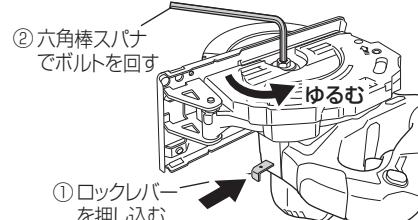
六角棒スパナを反時計方向に回し、ボルトとワッシャ (B) をはずす



2

スピンドルを固定する

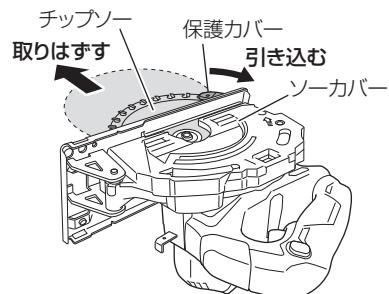
ロックレバーを押し込みながら、付属の六角棒スパナで、ボルトを反時計方向に回すと、チップソーの回転が止まる位置があります。この状態でスピンドルが固定されます。



4

チップソーを取りはずす

保護カバーをソーカバーの中に引き込み、チップソーを取りはずします。

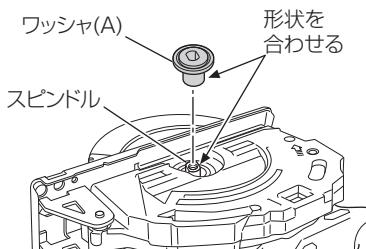


注 チップソーの取付け前にスピンドル、ワッシャ (A)、ワッシャ (B)、ボルトに付いている切りくずをよくふき取ってください。

5

ワッシャ (A) をスピンドルにさし込む

ワッシャ (A) を取りはずした場合は、以下のように取付けてください。

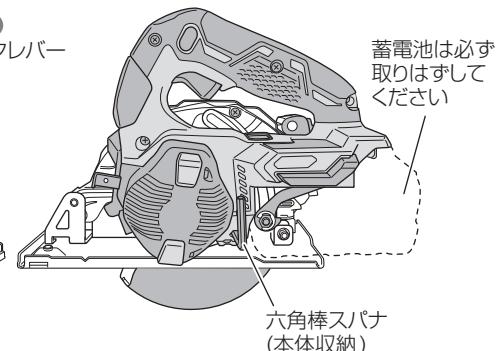
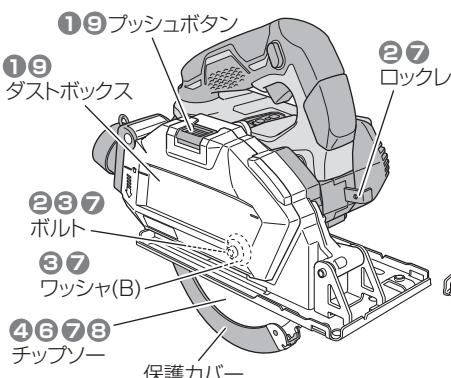
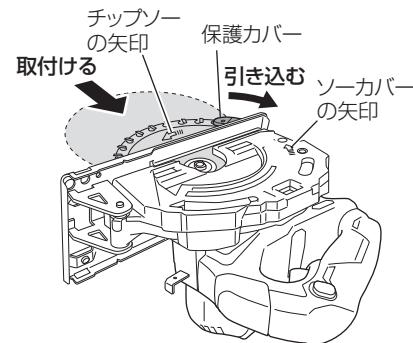


注 切断トイシは使用できません。

6

チップソーを取付ける

保護カバーをソーカバーの中に引き込み、チップソーの矢印がソーカバーの矢印方向と一致するように、チップソーを取付けます。

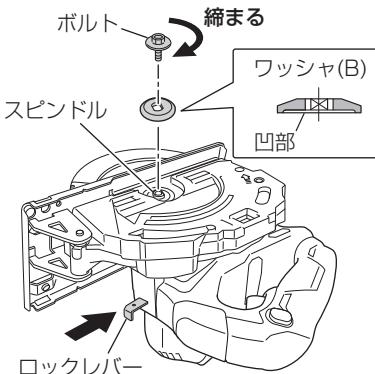


注 ワッシャ(A)、ワッシャ(B)、ボルトは、機体に標準付属されている物を使用してください。

7 チップソーを固定する

ワッシャ(B)の凹部をチップソー側にして取付け、ロックレバーを押し込みスピンドルを固定して、付属の六角棒スパナで、ボルトを時計方向にしっかりと締付けます。

(P.25 の②「スピンドルを固定する」参照)



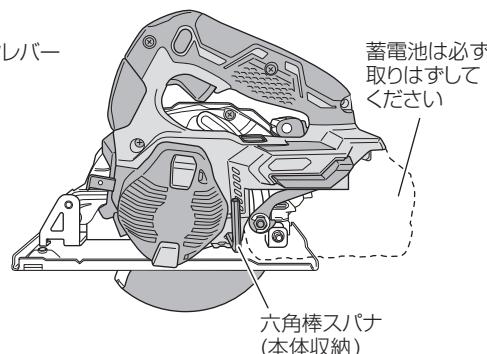
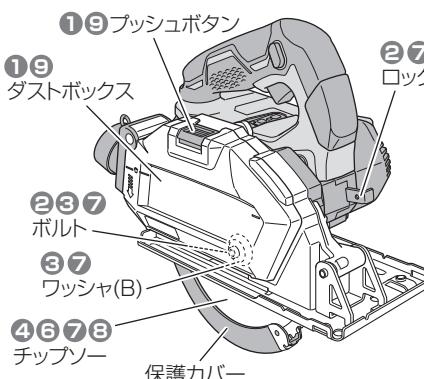
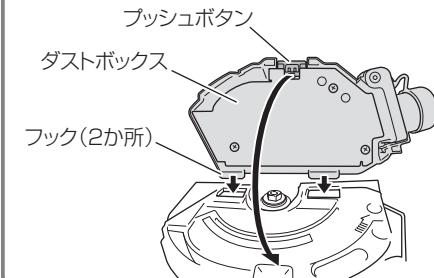
8 チップソーの取付けを確認する

ロックレバーを押さない状態で、六角棒スパナでボルトを締まる方向に回すと、チップソーが回転します。ガタつきやブレがなく、円滑に回転することを確認してください。

注 チップソーを締付けた後、ロックレバーが元の位置に戻っていることを確認してください。

9 ダストボックスを取付ける

下部のフック(2か所)を本体に掛け、上のプッシュボタンをはめ込み、ダストボックスを本体に取付けます。



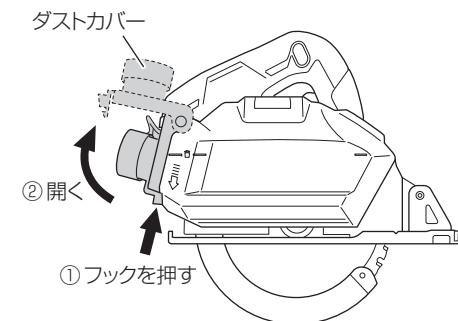
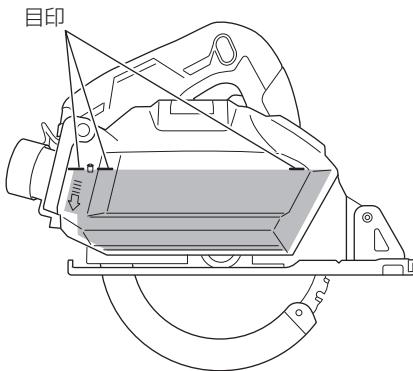
切りくずの捨て方

注 • 鋼材切断直後は切りくず、およびダストボックスは、高温になる場合があります。
直接触れないでください。

- 切りくずを捨てるときに、本体のモーター部、および蓄電池取付部に切りくずが入らないようにしてください。
- 切断する材料を変更するときは、ダストボックス内の切りくずを捨ててから作業してください。

△注意

ダストボックス内の切りくずは、目印を超える前に捨ててください。
集じん効率が低下します。また、切りくずの熱で、ダストボックスが変形する恐れがあります。



保守・点検

⚠警告

点検・お手入れの際は、スイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。

●機体の点検

各部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●チップソーの点検

切れ味が悪いチップソーを使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率が落ちます。また、蓄電池の消費が増え、使用時間が短くなりますので早めに目立てるか、新品と交換してください。

●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.9「各部の名称」参照)に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

注 ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング後方の風穴から吹き込んでください。

モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

●保護カバーの点検と保守

保護カバーは、いつも円滑に動くようにしてください。
なお、不具合のときは速やかに修理するよにしてください。

メモ

●端子部の点検

工具本体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所